

## 慶応大学 学生へのメッセージ

| 項目                    | 記事                           | 写真(概要)  |
|-----------------------|------------------------------|---|
| 筆者の<br>情報             | 大学での学部・専攻                    | 慶応大学 文学部史学科西洋史専攻  |
|                       | 氏名(ふりがな)                     | 宮武 勲(みやたけ いさお)  |
|                       | 出身地                          | 香川県   |
|                       | 所属部隊                         | 統合幕僚学校  |
|                       | 階級                           | 1等陸佐  |
|                       | 現在の役職名                       | 学校教官  |
|                       | 勤務している駐屯地(都道府県)              | 目黒駐屯地(東京都)  |
| 慶応大学<br>後輩への<br>メッセージ | 自衛隊入隊の動機                     | 元々、戦史に関心があり、大学でも戦史を研究していました。職業として自衛隊は全く考えていませんでしたが、就職活動をする時期になり、関心がある分野に関われることと、命懸けて社会に貢献できることに魅力を感じ、自衛隊入隊を決意しました。  |
|                       | 当初の不安をどのように解消したか             | 自衛隊という体力面や規律面で「厳しい」イメージがあったので、多少の不安はありましたが、「入隊してもたいていの方はやっている」という話は聞いていたので、「何とかなるのでは」と考えていました。実際、私は、入隊まで、運動部の経験もなく、規律や上下関係が厳しい環境で生活したことはありませんでしたが、入隊して20年以上何とかやれています。   |
|                       | 自衛隊での勤務内容<br>(達成感を得た印象に残る事項) | 2014年のフィリピンでの台風の災害派遣に派遣されましたが、被災された方に直接貢献できる機会を与えられました。また、2015年に改訂された「日米防衛協力の指針(ガイドライン)」に関しては、防衛省の自衛官サイドの主たる担当者として改訂にあたりましたが、日米の防衛協力全般に関わることであり、非常に濃い甲斐がありました。  |
|                       | 自衛隊での活動内容<br>(指揮官として)        | 私は専門が戦車なので、小隊長として十数名の部下と数両の戦車を、中隊長として数十名の部下と十数両の戦車を指揮する経験をさせていただきました。部下は、上は50代、下は10代と様々ですが、自分の思うように組織をマネジメントするのは、非常に濃い甲斐がありました。   |
|                       | 自衛隊での活動内容<br>(幕僚として)         | 第一線の戦車部隊の幕僚から、防衛省本省における陸上幕僚監部及び陸海空自衛隊の運用を統括する統合幕僚監部、外務省への出向等を経験しました。統合幕僚監部と外務省では、日米関係業務に携わり、アメリカ側と数々の調整・会議を経験し、防衛大臣や外務大臣が参加する会議にも参加し、アメリカの国防長官にお会いする機会もありました。部隊の幕僚は主に訓練等の企画をしますが、防衛省本省における幕僚は自衛隊全体に影響を及ぼす施策・制度を検討します。   |
|                       | 自衛隊を職業として選択し良かったこと           | 普通の人ではなかなかできない経験をさせていただいていること、そして社会に貢献できることです。経験については、2~3年ごとに配置転換があるため、場所は全国津々浦々、職務も指揮官から幕僚(第一線部隊の幕僚から防衛省本省における幕僚)、教官等様々であり、豊かな人生経験となります。   |
|                       | 将来の展望<br>(自己の将来への肯定的な期待)     | 数百名を指揮し、地域の警備や災害派遣を担任するする連隊長をやる機会に恵まれればと思っています。   |
|                       | 後輩(在学生)に向けた一言                | 自衛官は、普通の人にはできない稀有な経験ができ、かつ社会に貢献できる素晴らしい唯一無二の仕事です。不安に思うこともあるかもしれませんが、大丈夫です。何とかできます。ご関心のある方は、是非、チャレンジしてください。  |
|                       |                              |  <p style="text-align: center;">現在の筆者(執務室にて)</p>  <p style="text-align: center;">フランスの部隊研修(まだ20代のころの筆者)</p>  <p style="text-align: center;">外務省出向時の筆者</p>  <p style="text-align: center;">米軍司令部を訪問し、会議前に米軍人と握手する筆者</p>  <p style="text-align: center;">フィリピン台風災害派遣において、現地の方と物資を運ぼうとする筆者(中央)</p>  <p style="text-align: center;">日米防衛協力の指針(ガイドライン)の会議に関するNHKニュース(筆者は右上)</p> |